

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/09/17号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 安値更新後、ハリケーン襲来で切り返す

NY原油先物相場は、1バレル=65.27ドルまで下落して昨年5月以来となる1年4ヵ月ぶりの安値を更新した後、68ドル台まで切り返す展開になった。週前半は需要不安を織り込む展開が続き、下値模索の展開になった。ブレント原油が70ドルの節目を割り込むなど、安値更新サイクルが維持された。しかし、その後はメキシコ湾でハリケーンが発生したことで、供給不安を織り込む動きが優勢になり、一時70.32ドルまで切り返した。

メキシコ湾で発生した熱帯性暴風雨「Francine」は11日前後にルイジアナ州からミシシッピ州にかけてハリケーンに勢力を強めて上陸した。この影響で同地区の石油関連施設でも従業員の退避が行われ、原油生産や流通にも大きな混乱が生じた。米安全環境執行局（BSEE）の報告によると、9月10～13日まで4日間で累計255.0万バレルの生産が喪失されている。ただし、13日には従業員の職場復帰、操業再開が報告され、原油相場の高騰は一服した。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（9月6日時点）は、原油が前週比83万バレル増、ガソリンが231万バレル増、石油精製品が231万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

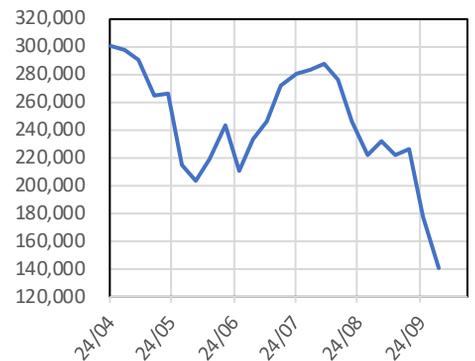
## 需要不安で戻り売り優勢の展開、改めて65ドル水準の攻防に

ハリケーンの供給不安の消化が終わり、改めて戻り売り優勢の展開になろう。中国を筆頭に世界の石油需要環境・見通しが悪化している。加えて、夏の行楽シーズンが終了したことで、需要の端境期に突入していることもネガティブ。石油輸出国機構（OPEC）プラスの減産縮小延期がほとんど材料視されなかったことから、地合の悪さが確認できる。WTI原油65ドル、ブレント原油70ドルが昨年来の最安値圏になっているが、同水準での下げ止まりの有無が打診される地合が続く見通し。

世界石油需要見通しの悪化が、原油相場の上値を圧迫しやすい。国際エネルギー機関（IEA）は2024年見通しを日量7万バレル引き下げた。中国では景気減速に加えて、電気自動車（EV）普及、高速鉄道網整備などの影響で、石油需要の伸びが急速に減速していることが報告されている。加えて、OPECプラス以外の増産圧力が強く、世界石油需要の伸びを上回る中、25年に向けて供給余剰リスクの高まりを指摘している。OPECも世界石油需要見通しを24年で8万バレル、25年で4万バレル、それぞれ引き下げている。今週は中国絡みの大きなイベントなどは予定されていないが、需要不安の織り込みが続くと、改めて下値を切り下げるリスクがある。

一方、9月17～18日には米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催される。利下げ幅について市場の見方が割れているため、株価やドル相場などのボラティリティが高まるリスクに注意が必要。また、米景況感を占う上で、17日に発表される米国の8月小売売上高、8月鉱工業生産などの経済指標にも注目したい。需要不安織り込みのダウントレンドに対して、修正を迫るような動きの有無が焦点になろう。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

